

## ～ 第 2 回町家川柳 ふりかえり ～

### ■ 総評（2022「町家川柳」を終えて）



今年も昨年に引き続き500を超える作品が集まりました。  
ご応募いただいた方々、本当にありがとうございました。今年は、応募作品を多くの人に目を通していただき、最終選考には姫路と金澤の町家の日の仲間にも参加していただきました。一見、何の役にも立ちそうにない十七文字ですが、これだけ多くの人が五七五をひねり出しているということは、町家をイメージしながら十七文字にすることで、脳が喜んでいるのですね。

夏目漱石が草枕の中で十七文字について書いています。

「まあ一寸<sup>ちよつと</sup>腹が立つと仮定する。腹が立った所をすぐ十七字にする。

十七字にするときは自分の腹立ちがすでに他人に変じている。…一寸涙をこぼす。

この涙を十七字にする。するや否<sup>いな</sup>やうれしくなる。涙を十七字に纏<sup>まと</sup>めた時には、苦しみの涙は自分から遊離して、おれは泣く事の出来る男だと云う嬉しさだけの自分になる。」これが人が十七文字に惹かれる心理なのでしょう。

今年、やはり新型コロナウイルス蔓延を題材にしたものが目につきました。そして町家に住む人の近隣との交流を詠みこんだものも多くあり、川柳ならではの生活感が出ていました。どの作品も町家に対する好感度が高いものばかりでした。この思いが、町家の継承、活用につながることを願っています。  
(松井 薫)

### ■ 町家文豪賞を選考いただいた方紹介。

#### ・上田 絵里子 さん

先祖代々大きな町家お住まいになっており、現在はなんと3世代で生活をされています。  
変わりつつある生活様式の中、町家での生活も柔軟に変化させながら、季節の移り変わりとともに、生活を楽しんでおられます。昨年は、お父様お母様に御選考をいただき、その思いを引き継いでいただき、今年はお嬢さんである恵美子さんが審査。親子で町家川柳にご協力いただいております。

#### ・山形 恭子 さん

桜のきれいな疎水の近くの長屋の町家に引っ越しされて 10 数年。  
お住まいになってから、改めて町家の魅力を 実感された ご家族です。  
昔の良いところを大切に、現代の生活を楽しんでおられる クリエイティブで素敵なライフスタイルをされています。  
昨年に続き、ご家族で川柳に取り組んでいただき選考いただきました。

### ■ イラスト担当

#### ・アトリエTAM 山口 珠瑛 さん <http://tam-y.com/>

絵本作家、イラストレーターとして活躍されておりまして、【町家えほん】【なるほど京暮らし】の作者でもあります。  
京の暮らしを親しみのあるキャラクターで紹介されています。町家や、京都の伝統的な生活などを興味深く作品にされています。現在は<ふくまめ京暮らし>youtube でも活躍中です。

※今回の町家川柳の為に、イメージキャラクター を作っていただきました。大工のくりちゃん 町娘のおはなちゃん

## ■協賛

株式会社 サッポロホールディングズ      株式会社 ワコール

## ■町家川柳 副賞を選考いただいた方の紹介

- |              |          |
|--------------|----------|
| ・金澤町家研究会     | 川上 光彦さん  |
| ・姫路町家の日      | 塩本 由紀子さん |
| ・アトリエ TAM    | 山口 珠瑛さん  |
| ・フラットエージェンシー | 吉田 光一さん  |
| ・都ハウジング      | 岡本 秀巳さん  |

## ■選考委員 としてご協力していただいた方 合計 25 名(敬称略)

永井美保、辻誠一、宮川邦博、網野正観、岡田優、遠藤晃一、山本裕、飯高克昌、安井智、内藤邦子、黒田素子、吉田達、上原智子、上田修三、表典広、表菜摘、梶山秀一郎、冨家裕久、森珠恵、井上信行、岩本純一、村田亮二

他 匿名の方 3名

## ■町家川柳スタッフ



松井薫 高瀬秀一郎 荒川博 若山正治

### ■コロナの中でも運営できる体制■

コロナ時勢が続く中、ズームなどを通してできるだけ工夫して進めてまいりました。去年の反省を踏まえつつ、改善しながらの運営。

多くの方にご参加・ご協力いただき感謝申し上げます。